

個別施策

- C5-1 地域ブランドの育成を推進します
- C5-2 意欲ある農林業者の育成確保を図ります
- C5-3 安心して農林業を営む環境づくりを進めます

ア 施策の目的

農林業者が、安全・安心で新鮮な農林産物を安定的に供給し、経営が安定している

イ 基本施策の評価

A c 目標を達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている

ウ 成果指標（「△」は目標値を上回ることが望ましい指標、「▽」は目標値を下回ることが望ましい指標）

指標名	基準値 (時期)	区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
1戸当たりの 農産物販売額 (千円)	3,817千円 (26年度)	△	目標値	4,361	4,418	4,475	4,533	4,591	4,591
			実績値	4,041	4,273	4,171	4,190	3,805	5,102
			達成率	92.7%	96.7%	93.2%	92.4%	82.9%	111.1%

エ 評価結果の妥当性

本部会での議論を踏まえて考えると、評価結果については妥当であると判断する。

オ 審議会における政策評価に関する意見

なし

カ 審議会における施策推進に向けた提案

- (1) なつたよりについて、厳しい環境の中で作っていただいていることは理解するが、せっかくこれだけ売り出すのであれば、生産者と連携して生産量を増やす努力を行い、スマート農業などの新しい技術や知恵を導入して、全国的に売り出してほしい。
- (2) びわの生産量の拡大について、現在は技術力が高まっているため、固定概念にとらわれず、例えば、山を切り開いて10haほど整備すれば平地でも栽培は可能だと思う。茂木地区にこだわらなくてよいと思うので、他の地形でも栽培を試していく動きをしていかないと、びわ産地やみかん産地は、台風被害や洪水被害、高齢の方は夏の暑さの影響で、やめていく人がさらに増えていく。